



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)柏市末広町事務所ビル新築	階数	地上6F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分		年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	
竣工年	2024年4月 0.0	評価の実施日	2023年2月27日
敷地面積	582 m ²	作成者	山内 裕滋
建築面積	476 m ²	確認日	
延床面積	2,784 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	74%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>内外装に天然木を用いた「木質オフィスビル」の計画である。室内の仕上げ等において積極的に天然木を用い、執務者のリラックス効果と再資源化可能な材料を用いることで二酸化炭素の排出量削減に寄与する計画とした。快適性を考慮して事務室の天井高さは2.7mを確保し、一角に休憩コーナーを設け執務者の創造性の向上を狙った。敷地の南北で道路高低差があり、国道からの雨水流入に配慮して指導対策量以上の雨水貯留量を確保している。</p>	<p>その他</p> <p>敷地の南北で高低差があり、北側道路から南側道路に集中豪雨による雨水流入の懸念があり、雨水の宅内処理に対しては雨水貯留量を割り増した他、緑地以外の補装部分には雨水浸透性のあるインターロッキング・アスファルト舗装をする</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>執務スペースと、水回り、会議室等の間仕切りには遮音壁を採用し、音環境に配慮した。事務室の空調には個別制御が容易な高効率タイプの天井カセット型を採用した。天井の高さに応じて到達距離の長いノール型を採用している。換気</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>執務室の天井高さは2.7mを確保し、執務者の創造性の向上のため、休憩コーナーを計画した。保有水平耐力計算を行い、建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。基準階の階高は3.7以上を確保し機器設備等の更新可能性</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>省エネ地域区分6地域において年間熱負荷係数【BPI_m】は0.77、【BEI_m】は0.63となっており、高性能断熱材の使用とLowE複層ガラスを北面のカテナールに用いたことで建物外皮の熱負荷抑制と一日を通じて安定して自然光の利用を両立した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>「木質ビル」として内外装に積極的に再資源化可能な材料として天然木を用い、LCCO₂の削減に寄与する計画とした。木材はFSC認証を取得した持続可能な森林から産出されたものを用いることで限りある天然資源の維持保全に特に配慮した。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ガス燃料を用いるような燃焼機器は使用しておらず、大気汚染の防止を考慮した。近年の集中豪雨の増加を想定して指導された規模より約30%増の雨水貯留槽を計画した。国道に面して1階に自動車車庫、自転車置場を計画している。荷捌き用、車いす用車両の駐車施設を確保し、</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

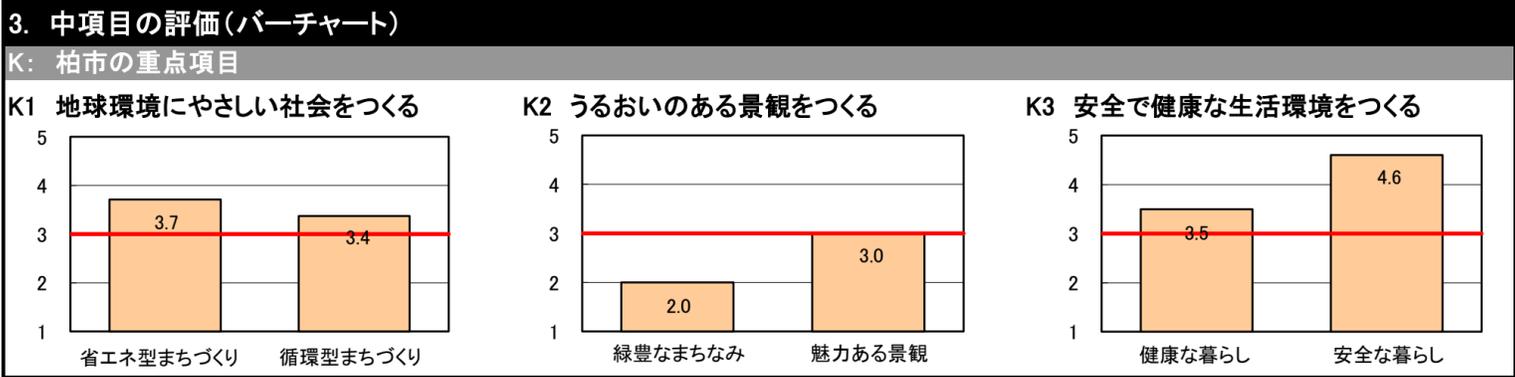


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要			
建物名称 (仮称)柏市末広町事務所ビル新築工事	建築物の環境効率 (BEEランク)	B+	★★★★☆

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.5 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	2.5 / 5.0	がんばろう	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	4.0 / 5.0	すばらしい	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する 廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.7 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 1.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 4.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.5 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する 緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 4.0 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 4.6 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -